

2026 年 10 月 22 日

PHP 脆弱性への対応について

一般社団法人日本建設業連合会

標記について、国土交通省不動産・建設経済局建設業課から、当会をはじめとする建設業団体（日建連、全建、全中建、道建協、全国建産連、日建経）に対し、下記の内容で周知依頼がありましたのでお知らせいたします。

記

昨日より報道等されております、PHP 脆弱性への対応について、各団体の皆様におかれてはすでにご対応されていることと存じますが、以下のとおり周知いたしますので、ご対応のほどよろしくお願いいたします。

※添付ファイルはございません。

多くのウェブサイトで使用されている PHP に関し、重大な脆弱性に関する注意喚起が以下の IPA の HP で示されています。

<https://www.ipa.go.jp/security/security-alert/2026/pre-alert20261021.html>

当省の所管事業者を含め、「PHP を利用しているウェブサイトの運営者や、PHP を利用したウェブアプリケーションの開発者の皆様は、今後 The PHP Group が公開する情報を注視し、公開後、速やかにセキュリティリリースを適用するなどの対応」（同 HP）をお願いする必要があります。

また、本件は、総理の SNS でも注意喚起されており、深刻度が重大であり、影響を受ける範囲が広いことから、攻撃者が悪用するおそれが高い脆弱性と考えられますので、速やかな脆弱性対応をお願いいたします。

（参考）総理の SNS 投稿

X ユーザーの高市早苗 (@takaichi_sanae) さん

「皆様に、今夜に対応して頂きたい大至急のお願いです。」

多くのウェブサイトで使用されている PHP に関し、PHP のセキュリティチームが、重大な 2 件の脆弱性に関する注意喚起を行っています。

公開しているウェブサイトで PHP を使用しているか確認し、今夜、10 月 21 日午後 11 時（日本時間）に公開される修正パッチについて、可及的速やかに適用できるよう準備をお願いします。

修正パッチを速やかに適用することが困難な場合は、例えばウェブサイト等を一時的に停止させることも、リスクを低減させるための有効策の一つと考えられます。

国家サイバー統括室の X アカウントでも関係する情報を発信していますので、そちらも参考にして下さい。」

PHP の脆弱性につきまして、IPA（独立行政法人情報処理推進機構）が更新情報を掲載しましたのでお送りします。

また、JPCERT/CC（一般社団法人 JPCERT コーディネーションセンター）からも同様に情報が公表されておりますので共有いたします。

（IPA）<https://www.ipa.go.jp/security/security-alert/2026/alert20261022.html>

（JPCERT/CC）<https://www.jpcert.or.jp/at/2026/at260033.html>

国土交通省 不動産・建設経済局 建設業課
代表：03-5253-8111(内 24716)

以上